



たぶんかきょうせいほいくつうしん
多文化共生保育通信 11号

きぼう いえか とりっく ほいくえん
希望の家カトリック保育園 2022年 3月



今年度もコロナの影響で様々な行事が中止となりました。そんな中で東九条マダンも中止となり、子どもたちのソゴをする姿を楽しみにしていた保護者の方もおられたので、とても残念でした。「それなら、東九条マダンに代わるマダンらしい取り組みをしようよ！」ということで、今年度は「園内マダン」という行事を設け、すずらんぐみの子どもたちが保育園の子どもたち、先生たちの前で多文化衣装を着たファッションショーとソゴを披露しようと準備が始まりました。

ファッションショーの準備では衣装選びから始まりました。保育園には韓国の衣装だけでなく、様々な国の衣装がたくさんあるので、子どもたちが着てみたい衣装を自分たちで選びましたよ。色や形が豊富なたくさんの衣装たちが並ぶと、子どもたちの目はキラキラしていました。「これにしようかな?」「〇〇ちゃんと同じ衣装にする!」と大盛り上がりでした。すぐに衣装を決めた子どももいればじっくり悩んで時間をかけて決めた子どももいましたよ。試着をしてみると「すてき!」「似合ってる!」という声がたくさん聞こえてきました。

ソゴの練習ではリズムや振り付けを教えてもらう時は真剣そのものでした。初めは向きがバラバラになってしまったり、ソゴの音が合わないことも多かったですが、練習を重ねるたびに息が合ってきて少しずつ上達をしていきました。ソゴの途中には運動会でも披露をした側転もしました。

そしてマダンの日の当日。希望の家のホールと地域集会所を借り、全クラスが集合しました。子どもたちや先生が集まってくる声にすずらんぐみの緊張感は高まっていきました。「ドキドキするけど楽しみ!」というような表情でした。

まずはファッションショーです。BGMにあわせ、中央にあるランウェイを一人ずつ歩きます。そしてセンターに着くとポーズをとりました。恥ずかしがり屋の子どもが多いので少し心配をしていたのですが、衣装を着たすずらんさんたちは私を見て!というように堂々と歩いていましたよ。お客さんとして見ていた子どもたちや先生たちからは拍手や歓声が上がりました。

次はおたのしみ保育で染めたTシャツに着替え、ソゴをしました。練習ではうまくできなかった所も本番に強いすずらんさんはさすがです。動きもソゴの音もばっちり合い、一番の出来でしたよ。子どもたちもソゴをたたきながら笑顔が見られ、本番を楽しんでいました。

最後は会場にいるみんなで「自転車に乗って東九条マダンへ」の歌を歌い、大成功で当日を終えることが出来ました。

東九条マダンは中止となりましたが、違う形で「マダン」を感じることが出来ました。すずらんの子どもたちにもいい思い出が残りましたよ。



今年度はベトナム出身のアイシさんという方との交流を予定していましたが、コロナの状況により残念ながら中止となりました。来年度来ていただくことになっていきますので、お会いできる日を楽しみに待ちたいと思います。

